



公益社団法人 豊島区薬剤師会

広 報

2025年

7

月号

編集委員 黒須俊行 南出美佐 前原直之



※地区研修会のお知らせ

令和7年度第1回豊島区薬剤師会地区研修会を開催いたします。
管理薬剤師の先生は必ずご受講ください。なお、本研修会は基準薬局認定の必須研修会となりますので、受講忘れの無いようお願いいたします。
また、東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度2単位の扱いとなります。

日 時：令和7年8月23日(土) 18:25~21:30

開催方法：① ZOOM ウェビナー使用のWEB 開催

基準薬局・研修認定シールが必要な方は当日 WEB 受講のうえ、要キーワード
報告

② オンデマンド配信

8/27(水)~9/7(日)を予定：申込者にメールで連絡します。

当日受講できない方は後日視聴してください。キーワード報告不要(単位付
与なし)

内 容： 1. 都薬アワー 18:30~19:30

「2025年のその先へ ~すべてのライフステージで必要とされる薬剤師
を目指して~」

公益社団法人東京都薬剤師会 副会長 宮川 昌和 先生

公益社団法人東京都薬剤師会 常務理事 犬伏 洋夫 先生

2. 臨床薬学講習 19:30~20:30

「嚥下障害について(仮)」

日本服薬支援研究会 代表・昭和大学薬学部 教授 倉田 なおみ 先生

3. 社会保険講習 20:30~21:30

「薬機法改正要点と忘れがちな事項の再確認」

北池薬局 管理薬剤師 前原 直之 先生

申込方法： 豊島区薬剤師会 HP「勉強会・研修会情報」ページより、お申込みください。

申込期間： 8月1日(金) 9:00~8月15日(金) 12:00

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 薬剤師資格証 (HPKI カード IC カード) の申込について

日本薬剤師会では、IC カードの調達不調に伴い、2024 年 12 月より管理薬剤師への優先発行を継続してきました。この度、IC カードの調達が完了したため、薬剤師区分に応じた優先発行を解除し、全ての区分の申請者について、順次審査を進めるとのことです。令和 6 年 12 月 23 日以降に HPKI カードの申請を行った勤務薬剤師の方については、順次審査およびカード発行が行われますので、もうしばらくお待ちください。

医療 DX の推進にあたり、電子処方箋等に対応するためには、薬剤師資格証等による資格証明が必須となります。管理薬剤師は無論のこと、保険薬局に勤務する薬剤師の皆様が薬剤師資格証等を速やかに入手できるよう「日本薬剤師会認証局」への申請をよろしくお願いいたします。

日本薬剤師会認証局 <https://www.nichiyaku.or.jp/hpki/index.html>

2) 【再掲】令和 7 年度 薬学講習会の開催について

東京都薬剤師会は本年度も都内在住・在勤の薬剤師を対象に「薬学講習会」を開催いたします。

なお、「医療安全管理講座」は、医薬品の安全使用のための業務指針に規定されている医薬品の安全管理に関する研修に該当します。本講習会は、基準薬局認定に必要な講習会の一つになっておりますので、新規に基準薬局を申請する方も是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

開催日時：令和 7 年 8 月 31 日（日）13:00～16:25（予定）

開催形式：集合研修（※オンライン研修はありません）

会場：「東京国際フォーラム ホール A」千代田区丸の内 3-5-1

定員数：2,000 名

受講料：テキスト代 500 円（申込時にクレジットカード決済）

申込方法：都薬ホームページ「お知らせ」より受付

単位認定：東京都薬剤師会 (G26) 認定 2 単位（予定）

3) 「都薬雑誌」並びに「医薬品情報・DI レター」の電子書籍化について—10 月号より全ての冊子が電子書籍版となります—



東京都薬剤師会より通知がありました。

さて、すでに都薬雑誌 6 月号以降の誌面でもお知らせしておりますが、「都薬雑誌」電子書籍版が今月 7 月号よりスタートいたしました。10 月号からは完全電子書籍化（冊子での提供を終了）し、より身近で便利な雑誌に進化いたします。

これに伴い、例年 7 月～翌年 3 月に同封させていただいておりました冊子「医薬品情報・DI レター」におきましても、8 月号 (DI レター No. 1) から電子書籍版をスタートし、10 月号 (DI レター No. 2) 以降は、電子書籍版の

みの発行となります。

「都薬雑誌」「医薬品情報」「DI レター」電子書籍化スケジュール

冊子名	形態	7 月	8 月	9 月	10 月
都薬雑誌	冊子（紙）				終了
	電子書籍				
医薬品情報 DI レター	冊子（紙）	医薬品情報 No. 1			終了
	電子書籍		DI レター No. 1	医薬品情報 No. 2	DI レター No. 2

なお、「医薬品情報・DI レター」電子書籍版閲覧のための方法 (Poste 利用) や閲覧に必要な ID、パスワードは「都薬雑誌」と同じです。詳細は、都薬雑誌 7 月号「「都薬雑誌」電子版を読もう!」（別添）をご参照くださいますようお願い申し上げます。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和 7 年度資料 > 令和 7 年 7 月資料

https://drive.google.com/file/d/1aHyMl0co1bL5Qmr0gMvgMi6f94lWPnc0/view?usp=drive_link

4) オセルタミビルカプセル 75mg「サワイ」(流通用製剤)の使用期限の

取扱いについて

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課より通知がありました。

オセルタミビルカプセル 75mg「サワイ」(成分名:オセルタミビルリン酸塩)の有効期間が 6 年から 8 年に延長されました。

これに伴い「オセルタミビルカプセル 75mg「サワイ」及びオセルタミビル DS3%「サワイ」の使用期限の取扱いについて」(令和 5 年 6 月 30 日付け厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課事務連絡)は廃止し、本事務連絡をもって代えることとします。取扱いについては、添付文書上の保存方法を遵守した製剤に適用されるものであり、本取扱いを踏まえつつ、保存方法についても適切にお取り計らいいただくようお願いいたします。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和 7 年度資料 > 令和 7 年 7 月資料

https://drive.google.com/file/d/1v94f8DPFaxCWs1PnVv6rkduC-MwaZbq6/view?usp=drive_link

5) 医療事故情報収集等事業「医療安全情報 No. 223」、

「医療安全情報 No. 224」の提供について

日本医療機能評価機構より、「医療安全情報 No. 223」、「医療安全情報 No. 224」が公表されました。

医療事故の発生予防、再発防止のためにご活用ください。

※日本医療機能評価機構ホームページをご参照ください。

○医療安全情報 No. 223

https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_223.pdf

○医療安全情報 No. 224

https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_224.pdf

6) 医療事故情報収集等事業第 80 回・第 81 回報告書の公表について

日本医療機能評価機構より、第 80 回・第 81 回報告書が公表されました。

同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のため、本報告書をご確認の上、内容について留意されますようお願いいたします。

※日本医療機能評価機構ホームページをご参照ください。

○医療事故情報収集等事業第 80 回報告書(2024 年 10 月～12 月)

https://www.med-safe.jp/pdf/report_80.pdf

○医療事故情報収集等事業第 81 回報告書(2025 年 1 月～3 月)

https://www.med-safe.jp/pdf/report_81.pdf

7) 薬局業務におけるカスタマーハラスメント発生時の対応事例に係る

アンケート調査結果について

日本薬剤師会より通知がありました。

先般、都道府県および地域を活動区域とする薬剤師会ならびに会員の皆様のご協力のもと、調剤における適切な対応の在り方を検討するため、表題のとおり調査を実施いたしました。

調査結果の詳細につきましては、別添資料をご確認ください。

日本薬剤師会では、今回の調査結果を踏まえ、医療提供体制の変化や薬剤師の働き方改革といった観点から必要な検討を進めてまいります。また、厚生労働省との協議をはじめとする関係機関との連携のもと、適切な対応を講じていく所存です。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より >

Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和 7 年度資料 > 令和 7 年 7 月資料

https://drive.google.com/file/d/1vxG0RcoDJYZgboZmS8BB9Ux5Vlaw28LH/view?usp=drive_link

8) ミャンマー地震に係る義援金募集の結果について

日本薬剤師会より報告及び御礼が届きました。皆様にご厚志を賜り心より御礼申し上げます。

ミャンマー地震に係る義援金の募集を行いましたところ、全国の会員、薬局、薬剤師会等から 2,675,657 円にのぼる義援金が寄せられました。ご協力いただきましたことに深く敬意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。

皆様から寄せられた義援金に加え、日本薬剤師会より 500,000 円を追加した総額、3,175,657 円を、6 月中旬に日本赤十字社「2025 年ミャンマー地震救援金」へ全額寄附いたしましたことをご報告いたします。

9) 「特別用途食品に関する質疑応答集」の一部改正について

消費者庁食品表示課長より通知がありました。

特別用途食品の許可区分、表示事項等については、「健康増進法に規定する特別用途表示の許可等に関する内閣府令等の一部改正について」（令和 6 年 12 月 17 日付け日薬業発第 339 号）にてお知らせし、経口補水液の項に係る事項については、令和 7 年 6 月 1 日に施行されたところです。

今般、規定の運用を明確にする必要がある事項等について「特別用途食品に関する質疑応答集」が改正され、経口補水液の販売方法に関する問の新設等が行われました。

詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和 7 年度資料 > 令和 7 年 7 月資料

https://drive.google.com/file/d/1RbIkfGs5Q3yocFd730HGKh-gotL9zvH4/view?usp=drive_link

10) 新型インフルエンザ等対策政府行動計画に基づく個人防護具の 備蓄について

東京都保健医療局 感染症対策部より通知がありました。

厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課から都道府県衛生主管部局宛てに、事務連絡「新型インフルエンザ等対策政府行動計画に基づく個人防護具の備蓄に関する協定締結医療機関以外の医療機関への周知について」が発出され、協定締結医療機関以外の医療機関におかれましても、個人防護具の備蓄に努めていただきたい旨の通知がありました。

つきましては、上記事務連絡を踏まえ次のとおり御対応くださいますようお願い申し上げます。

- 1 新型コロナウイルス感染症が発生した際に、感染症対策物資等の輸入量の大幅減少や輸入途絶等により、国内の供給不足が起こったことを踏まえ、感染症対策物資等に関しては、政府行動計画及びガイドラインに基

づき、国・都道府県のみならず、医療機関においても備蓄・配置を行うこととなっています。

- 2 政府行動計画には、「協定締結医療機関は、国が定める備蓄品目や備蓄水準を踏まえ、予防計画に基づき個人防護具を計画的に備蓄する。」という記載があるとおり、協定締結医療機関においては、有事の際に備えて個人防護具の備蓄を進めていただいています。
- 3 協定を締結していない医療機関におかれても、医療提供継続のために個人防護具は必需品であることから、新たな感染症が発生した場合に備えて、各医療機関で必要となり得る量（当該医療機関における通常使用量の2か月分を推奨）の個人防護具の備蓄に努めていただくようお願いいたします。

豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 令和7年度高齢者の服薬情報提供事業へご協力をお願い

(8月末開始)

当会と豊島区との共同事業「高齢者の服薬情報提供事業」の、今年度事業が8月末から始まります。詳細は後日配信いたしますが、昨年度までと実施方法が変更されます。事務局から連絡があった際は、よろしくお願いいたします。また、昨年同様、別添掲示物を薬局内に掲示し、該当すると思われる患者へのお声掛けをお願いいたします。

なお、相談対応された先生は、事務局まで報告をいただきますようお願いいたします。

2) 熱中症対策アンバサダーについて

先般、熱中症対策アンバサダー講座をご案内したところですが、6月16日(月)～6月30日(月)オンデマンド配信により実施されました。受講後に確認テストを受け、合格すると熱中症対策アンバサダーに認定されるという講座で、豊島区薬剤師会の中では、下記の通り認定されました。

薬剤師 41名 (28 薬局うち涼みどころ薬局 16)
登録販売者 4名 (2 薬局)
他 3名 (事務 2、学生 1)

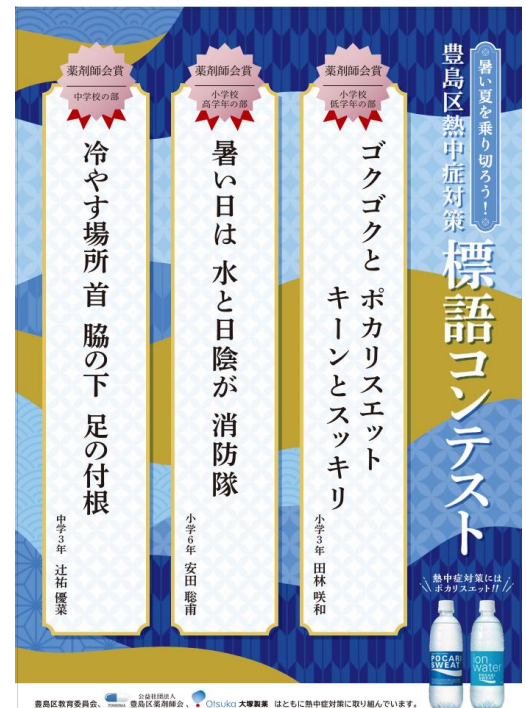
3) 豊島区熱中症対策標語コンテストへの協力について

大塚製薬主催、豊島区教育委員会後援の豊島区熱中症対策標語コンテストに協力いたしました。

小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部に薬剤師会賞を設け、7月16日（水）表彰式が行われました。

また、最優秀賞、優秀賞等受賞作が掲載されたポスターが作成されましたので、薬局での掲示をお願いいたします。1枚のポスターに全ての受賞作を掲載できないため、3種類のポスターが作成されました。会員薬局へ3種類のうちのどのポスターが配布されるかはきまっておりますので、ご了承ください。

また、西武線池袋駅構内には大きく掲示されていることをお知らせいたします。



↑ 薬剤師会賞受賞作
← 西武池袋線駅構内掲示の様子



4) 【再掲】 豊島区薬剤師会ホームページについて

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築及びリストの公表を行っています。

【リストの掲載場所】

豊島区薬剤師会HP → 区民向けご案内 → 薬局をさがす（地図またはリストで探せます）

■ <https://www.toyoyaku.jp>

■ 会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員退会

福岡 宏幸 (A) 駒込中央薬局 駒込 1-28-11

会員入会

田代 敦士 (A) デイジー薬局池袋店 西池袋 1-39-4
矢部 志織 (A) 駒込中央薬局 駒込 1-28-11

会員数報告

A 会員	107 名
B 会員	10 名
賛助会員	2 名
合 計	119 名



保険部より

1) 「医薬品副作用被害救済制度」における書類作成への協力依頼等について

厚生労働省医薬局総務課医薬品副作用被害対策室長、同医薬局医薬安全対策課長及び同医政局医事課長から別添のとおり通知がありました。

健康被害に遭われた方が、制度の趣旨を踏まえ、円滑かつ適切に救済給付を受けるために、これまでも、別添のとおり協力をお願いしてきたところですが、請求に必要な診断書等の書類の入手に当たり必要な協力をお願いいたします。

1. 救済制度に係る請求書類の作成について

救済制度に基づく給付の請求に当たっては、健康被害に遭われた方等が、請求書と併せて、医師の診断書や受診証明書、薬局等で医薬品を購入した場合は販売証明書等の必要な書類を添えて、PMDAに請求を行うことが必要です。医療機関及び薬局において、請求を希望される方から診断書等の作成の相談があった場合は、制度や書類の趣旨をご理解いただき、円滑な請求が可能となるよう、ご協力をお願いいたします。

- ・ 請求に必要な書類の様式・手引き・チェックリスト等

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0004.html>

なお、書類作成に当たっての不明点等については、PMDA の救済制度相談窓口にご相談いただくことが可能です。

【PMDA 救済制度相談窓口】

- ・ 電話での問い合わせ 0120-149-931（フリーダイヤル）
＜受付時間 月～金（祝日・年末年始を除く）午前 9 時～午後 5 時＞
- ・ メールでの問い合わせ kyufu@pmda.go.jp
※メールによるお問い合わせへの回答は、通常、数日程度かかります。

2. 医薬品副作用被害救済制度の周知について

医薬品の副作用により健康被害を受けた方が当該制度による救済を受けるためには、請求書類等の作成に当たり医療関係者のご協力が不可欠であることから、医療関係者の皆様にも救済制度について十分にご了知いただくことが必要です。

PMDA が実施した「令和 5 年度医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」では、制度の認知率（救済制度について「知っている」「聞いたことがある」と回答した割合）について、医師が 91.0%、薬剤師が 96.8%、看護師が 65.7%、歯科医師が 83.2%である一方、実際に請求手続に関わったことがある者は、医師が 15.1%、薬剤師が 12.0%、看護師が 7.9%、歯科医師が 8.9%となっており、必ずしも医療関係者が救済制度の手続等を熟知しているとは限らない状況です。改めて、救済を受けようとする方が、混乱なく円滑かつ適切に手続を行うことができるよう、救済制度についての周知にご協力いただきますよう、お願いいたします。

【特設サイト】

医薬品副作用被害救済制度

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

医療関係者向け e ラーニング講座

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/general06.html

医薬品副作用被害救済制度に関する Q & A

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0006.html>

医薬品副作用被害救済制度の周知資料

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0063.html>

救済制度に関する認知度調査

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0023.html>



2) 医薬品の承認事項及び電子化された添付文書等における

「免疫性血小板減少症」の名称の取扱いについて

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課ほかから連絡がありました。

「特発性血小板減少性紫斑病」については、「免疫性血小板減少症」に

指定難病名を変更する改正告示が公布され、令和7年4月1日から適用されているところです（令和6年厚生労働省告示第382号）。これを踏まえ、電子添文等に係る取り扱いが示されました。

詳細は、保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和7年度資料 > 令和7年7月資料

https://drive.google.com/file/d/1PfX_dzTa8_XGHSBQKGtSFqQTNJ08qyWW/view?usp=drive_link

3) 要指導医薬品として指定された医薬品について

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課から連絡がありました。

製造販売が了承された、オメプラゾールについて令和7年6月27日付で、またランソプラゾールについて令和7年7月10日付で、それぞれ製造販売承認がされ、要指導医薬品に指定されました。

(別表)

有効成分	販売名	製造販売業者	承認年月日	調査期間（予定）
オメプラゾール	オメプラールS サトプラール	佐藤製薬株式会社	令和7年6月27日	安全性等に関する製造販売後調査期間（3年）

(別表)

有効成分	販売名	製造販売業者	承認年月日	調査期間（予定）
ランソプラゾール	タケブロンS	アリナミン製薬株式会社	令和7年7月10日	安全性等に関する製造販売後調査期間（3年）

4) 【重要】「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」等の一部改正について

厚生労働省保険局医療課から連絡がありました。

特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いにつきましては、令和6年3月6日付け日薬業発第470号にてお知らせしたところですが、今般、届出に関する手続きについて一部改正が行われたとのことです。

本年7月1日算定開始にかかる届出までは、従前のおり提出者に対して受理番号を付して通知されますが、同8月1日算定開始にかかる届出以降については、受理通知の郵送による案内はされません。したがって、関東信越厚生局ホームページにて、最新の受理状況をご確認いただくようお願いいたします。

詳細は、保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より >

Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和 7 年度資料 > 令和 7 年 7 月資料

https://drive.google.com/file/d/1lyigg3D4JITnyN6lcZ7fbqHRrcyFHp_aQ/view?usp=drive_link

5) 電子処方箋の用法マスタの改訂について

厚生労働省医薬局総務課より、別添のとおり連絡がありました。

今回の改訂に伴い、本年11月1日より新しい用法マスタの利用が開始されます。つきましては、各薬局におかれましては新マスタの用法コードに対応できるよう電子処方箋対応のシステム事業者等とご連携の上、準備を進めていただきますようお願いいたします。

なお、最新の電子処方箋マスタは下記リンクよりご参照いただけます。

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 医薬品・医療機器 > 電子処方箋 電子処方箋管理サービスの処方箋情報等を記録するための用法マスタ
<https://www.mhlw.go.jp/stf/denshishohousen.html#2.1>



詳細は、保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和 7 年度資料 > 令和 7 年 7 月資料

https://drive.google.com/file/d/1k2w8i0L000CM_8tlqSmDSRxLG2BIPcgD/view?usp=drive_link

6) 「2023 年度全国薬局連携調査」報告書について

日本薬剤師会では、薬局薬剤師業務の質を評価する指標として疑義照会に注目し、その内容と経済効果を評価すること、また在宅業務における処方提案の実態や服薬フォローアップについて調査・解析することにより、薬剤師業務の有用性を評価することを目的として、標記調査を実施してまいりました（令和5年5月26日、日薬業発第65号）。今般、別添のとおり報告書がまとまりましたのでお知らせいたします。また、本調査で得られたデータに基づき、論文が執筆・公開されておりますので、併せてお知らせいたします。

<別添>

・2023年度全国薬局連携調査報告書

（委託先：東京理科大学 薬学部 鹿村 恵明 教授）

日本薬剤師会ホームページ > 日本薬剤師会の活動 > 調査研究・報告書等

<https://www.nichiyaku.or.jp/yakuzaishi/activities/investigation>

[論文掲載先URL]

<https://doi.org/10.1248/yakushi.24-00016>

<https://doi.org/10.1248/yakushi.25-00010>

7) 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について

令和7年7月16日から内用薬3品目、注射薬2品目が薬価基準の別表に収載されましたのでお知らせいたします。（参考1）

また、販売名変更により、内用薬9品目及び注射薬3品目が令和8年3月31日までの経過措置と告示されましたので合わせてお知らせいたします。（参考2）

（参考1）

薬価基準告示

No	薬価基準名	成分名	規格単位	薬価
1 内用薬	バルバーサ錠3mg	エルダフィチニブ	3mg 1錠	31,810.40
2 内用薬	バルバーサ錠4mg	エルダフィチニブ	4mg 1錠	41,501.70
3 内用薬	バルバーサ錠5mg	エルダフィチニブ	5mg 1錠	51,009.70
4 注射薬	ペバシズマブB S点滴静注100mg「アムジェン」	ペバシズマブ（遺伝子組換え）〔ペバシズマブ後続2〕	100mg 4mL 1瓶	6,901
5 注射薬	ペバシズマブB S点滴静注400mg「アムジェン」	ペバシズマブ（遺伝子組換え）〔ペバシズマブ後続2〕	400mg 16mL 1瓶	26,066

（参考2）

掲示事項等告示

別表第2（令和8年3月31日まで）

No	薬価基準名	成分名	規格単位
1 内用薬	イマチニブ錠100mg「ヤクルト」	イマチニブメシル酸塩	100mg 1錠
2 内用薬	局 セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「TW」	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	100mg 1g
3 内用薬	局 セフカペンピボキシル塩酸塩小児用細粒10%「SW」	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	100mg 1g
4 内用薬	局 セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「SW」	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	75mg 1錠
5 内用薬	局 セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「TW」	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	75mg 1錠
6 内用薬	局 セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「SW」	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	100mg 1錠
7 内用薬	局 セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「TW」	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	100mg 1錠
8 内用薬	局 セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「SW」	セフジトレン ピボキシル	100mg 1g
9 内用薬	局 セフジトレンピボキシル錠100mg「SW」	セフジトレン ピボキシル	100mg 1錠
10 注射薬	ペバシズマブB S点滴静注100mg「第一三共」	ペバシズマブ（遺伝子組換え）〔ペバシズマブ後続2〕	100mg 4mL 1瓶
11 注射薬	ペバシズマブB S点滴静注400mg「第一三共」	ペバシズマブ（遺伝子組換え）〔ペバシズマブ後続2〕	400mg 16mL 1瓶
12 注射薬	ボルテゾミブ注射用3mg「ヤクルト」	ボルテゾミブ	3mg 1瓶

詳細は保険部ページをご覧ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和7年度資料 > 令和7年7月資料

https://drive.google.com/file/d/1cF2J90qW8vsSTtTfMCz90l09xsBwPlaf/view?usp=drive_link

8) 資格確認書の印字誤りに係るリーフレットの配布について

東京都後期高齢者医療広域連合より、資格確認書の印字誤りに係るリーフレットの配布について周知依頼が参りました。令和7年度一斉更新及び8月年齢到達にて被保険者にお送りした資格確認書に、一部券面の印字の誤りがあることが判明したとのことです。本件につきまして、被保険者から今回の印字誤りのある資格確認書が提示された場合の取扱についてリーフレットが作成されましたので、受付の際にご参考にしていただくようお願いいたします。

なお、印字誤りのある資格確認書も、有効な証としてご利用いただけるとのことです。

<添付資料>

(別添)

- ・【通知文書】資格確認書の印字誤りに係るリーフレットの配布について
- ・【リーフレット】令和7年度一斉更新及び8月年齢到達にてお送りした資格確認書（表面）の印字誤りについて

【お問合せ先】

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-5-1 東京区政会館 16 階
東京都後期高齢者医療広域連合
保険部資格保険料課資格係 担当：大岩・田嶋・阿部
TEL：03-3222-4512 FAX：03-3222-4500
E-mail：shikakuhokenryo@tokyo-kouiki.jp

詳細は保険部ページをご覧ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より >

Google ドライブはこちら > その他資料 > 令和7年度資料 > 令和7年7月資料

https://drive.google.com/file/d/1NZSmqQiVWwnqIQogZ2FLR44E4IE0z0Gy/view?usp=drive_link

9) 【再掲】保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を詳細に伝達するために、専用ページを設けております。

URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > googleドライブはこちら

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvjl6An3GWZy3JDSlgLS0TVIawLkDRX>



10) 【再掲】保険関係のお問い合わせについて

eST-aidにてご案内しましたが、豊島区薬剤師会ホームページに問合せフォームを作成いたしました。保険関係のお問い合わせはこちらのフォームよりお願いいたします。

なお、ご回答にはお時間をいただく場合もありますこと、ご承知おきください。

◆保険関係お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/HC1TfHsmiYiJkuHW9>

豊島区薬剤師会ホームページ → 会員専用ページ → 保険部より
 会員専用ページに入るにはユーザー名・パスワードが必要です。
 会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。



学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術講演会のお知らせ

8月の勉強会はございません。

9月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和7年9月18日（木）19:45-21:30

場所：情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：【特別講演】『（仮）腰椎疾患に対する疼痛マネジメント』

講師：帝京大学医学部 整形外科学講座 助教 藤田 宗義 先生



☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆申し込みを豊島区薬剤師会HPからの参加登録のみに限らせて頂きます。

☆申し込み方法：豊島区薬剤師会HPにアクセス→「勉強会・研修会情報」→「お申し込みはこちら」をクリック→必要事項を入力し送信

☆参加受付開始日時：令和7年9月1日（月）9:00～9月12日（金）12:00

☆ご参加を事前申し込み70名様までと限らせて頂きます。

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）

2)【再掲】勉強会・研修会の単位付与について

豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しております。

情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

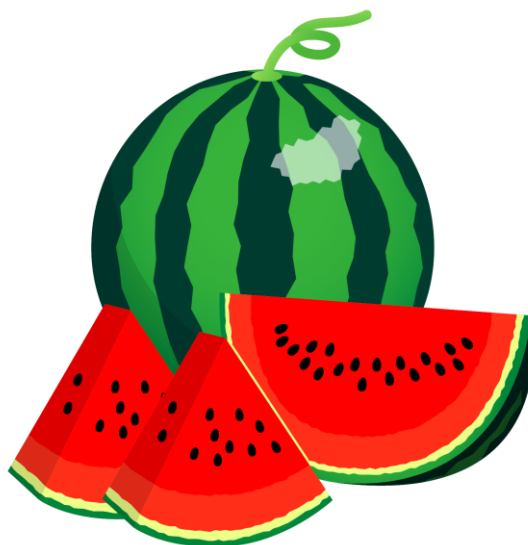
薬学生実務実習関係

1) 実務実習指導薬剤師の方々へのお知らせ

6/26～27にOTC研修、7/2～3に学校薬剤師実習を行いました。

また、7/9に懇親会を開催いたしました。

8/3でⅡ期の実習が終わり、8/18からⅢ期の実習が始まります。指導薬剤師の先生方、何かお困りのことがありましたらいつでも相談を受け付けております。



地域医療/多職種連携担当より

1) 池袋あうる薬局輪番

8月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

お願ひ ~ 輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

8月	日勤 9:00~16:00	準夜 16:00~22:00		
		事務兼務		事務兼務
2日(土)			北池薬局	河添
3日(日)	こまごめ薬局	佐藤	平和通り保健薬局	江村
9日(土)			あかまつ薬局	藤平
10日(日)	あけぼの薬局 南長崎店	黒須	ポラム薬局	黒須
11日(月)	池袋駅前げんき薬局	黒須	うずらやま薬局	黒須
16日(土)			薬局マツモトキヨシ 東長崎駅北口店	前原
17日(日)	アイン薬局 池袋駅東口店	佐藤	よつば薬局 池袋西口店(K)	南出
23日(土)			かもめ薬局	河添
24日(日)	デイジー薬局 東池袋店	黒須	よつば薬局 池袋西口店(T)	南出
30日(土)			アイン薬局 池袋駅東口店	河添
31日(日)	ヒバリ薬局(T)	小林	さの薬局(A)	江村

2) 長崎休日診療所派遣

8月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

8月	3日(日)	デイジー薬局 東池袋店
	10日(日)	池袋萬盛堂薬局
	11日(月)	長崎調剤薬局
	17日(日)	デイジー薬局 東池袋店
	24日(日)	長崎調剤薬局
	31日(日)	池袋萬盛堂薬局



3) 医薬品・情報管理センター報告（令和7年6月）

○相談件数

薬局からの処方箋応需	1
患者からの処方箋応需	1
医療用医薬品についての相談	2
医療機関紹介	0
一般用医薬品についての相談	0
その他	4
合計	8

○管理センター売上及び仕入

売上	¥1,683,024
仕入	¥1,394,036

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日・夜間	53枚
その他	347枚
合計	400枚

○情報発信2025.7

【治験薬の院外処方解禁へ-薬局・薬剤師を有効活用】

厚生労働省は、薬局・薬剤師数の増加や薬局の都市部集中が指摘される中、薬局や薬剤師の有効活用に向けた方策の一つとしてGCP省令を改正し、治験薬の院外処方を解禁する方針だ。治験実施医療機関の来院に依存しないDCT（分散型治験）の導入が進められる中、治験薬管理や被験者の服薬管理を薬局が担うことで治験実施計画（プロトコル）からの逸脱防止や治験実施医療機関の負担軽減につなげる。地域薬剤師会と製薬企業が契約を結び、会員薬局が治験薬を交付することも許容する。今までは治験実施計画書に規定する治験薬（被験薬・対照薬）ではない治験使用薬（併用薬、レスキュー薬、前投与薬等）については、実施医療機関が在庫として保管する医薬品を使用しても差し支えないとの見解が示されていた。

DCTの普及が見込まれ、被験者の近隣に位置する医療機関のみならず、薬局での治験薬交付を認める方向で検討が進んでいる。これまでのGCP省令は「治験薬を治験依頼者の責任のもと実施医療機関に交付しなければならない」と規定され、院内処方しか認められていなかった。欧州は一部の国を除き、治験依頼者から薬局を経由した治験薬交付を認めている。

薬局からの治験薬交付は生活習慣病治療薬の治験が対象となり、院内処方が必要な注射剤の治験は対象外となる見通しだ。治験薬管理者となるパートナー薬局（仮称）は▽治験薬の管理▽被験者の病態管理▽治験コーディネーター（CRC）業務▽プロトコル逸脱防止の役割を担う。薬局は、プロトコルに基づき治験依頼者から治験薬の交付を受け、来局した被験者に治験薬の受け渡しや、被験者の健康状態管理を行う。

パートナー薬局については施設要件などの縛りはかけないが、治験の基本的知識を身につけた薬剤師が治験薬交付業務を行うため、教育体制を確認する方針。パートナー薬局は、治験依頼者、治験実施医療機関などと契約を交わして治験薬交付を行うと見られるが、契約主体が「個々の薬局」「薬局の集合体」のどちらの形態でも容認する考えだ。

一方、被験者からの治験参加同意を取得する拠点として、薬局を活用する可能性は否定した。治験薬を交付した被験者に有害事象が発生した場合は薬局から安全性報告を行うよう求める方針で、安全性情報の報告先については今後詰める。

製薬企業の中には、被験者リクルートや上市後の安全対策で薬局の関与

も期待する声もある。都市部では外来患者数が減少し、薬局は処方箋調剤に依存した収益構造の脱却が喫緊の課題となっている。治験依頼者である製薬企業との契約に基づいた治験薬交付を行うことになれば、製薬企業の研究開発費から収益が得られ、薬局の事業多角化につながる可能性もある。今後の動向に注目したい。

4) 日本薬剤師会 薬剤師職能振興研究助成事業の募集について

日本薬剤師会では、令和5年度には諸般の事情により当該事業を休止しておりましたが、本年度は再開の運びとなりました。本事業は、医療及び薬事衛生における薬剤師職能及び薬局機能について、発展を希求する研究や状況調査に対して助成し、もって国民の健康な生活に貢献することを目的として実施いたします。助成にあたっては、この目的を達成できると判断される研究を対象といたします。

なお、募集要項・申請書・交付規程は、今後、日薬誌及び日薬ホームページにて周知を行い、日薬ホームページからダウンロードいただける形式で掲載いたします。

5) 令和7年国勢調査実施への御協力・御支援について(依頼)

東京都国勢調査実施本部長より依頼がありました。日頃より統計調査に御理解、御協力をいただきありがとうございます。

本年実施する国勢調査は、国内に居住する全ての人と世帯を対象とする最も基本的かつ重要な統計調査であり、その調査結果は、少子高齢対策や防災対策、地域活性化等の基礎資料として欠かせないデータとなります。近年の個人情報保護意識の高まり、オートロックマンションや日中不在世帯等の増加により、調査員が調査世帯と接触することが難しくなるなど、調査環境が厳しさを増しています。このような中であって、国勢調査に対する都民の関心を高め、着実に回答につなげるのが肝要です。

東京都国勢調査実施本部は、広報や啓発のために、若年単身者、外国人向けの取組として、SNSなどのデジタル媒体を積極的に活用した広報の展開等の取組を順次実施していくほか、日中不在世帯に対する取組として、企業団体等の皆様に対してご協力をお願いすることといたしました。

具体的には、令和7年国勢調査の実施を広く周知し、調査の啓発を図るため、御協力・御支援を賜りますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

(参考)国勢調査2025総合サイト

(<https://www.kokusei2025.go.jp/>)

〈令和7年国勢調査の実施に当たり、御協力・御支援をいただきたい事項〉

1 回答の呼びかけ

電子メール、会報での紹介のほか、総会や研修会等で回答の呼びかけをお願いします。

2 インターネット回答の促進

今回調査では、QRコードを活用した簡単・便利な「ダイレクトログイ

ン方式」によるインターネット回答を推奨しています。インターネットを活用した回答について、ご周知ください。

3 ポスター掲示や動画の表示

掲示板へのポスター掲示、デジタルサイネージやモニター等への動画や画像の表示について、ご協力をお願いします。

4 リーフレットの配布

国勢調査について理解を深めていただくため、リーフレットの配布をお願いします。



詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年7月資料

https://drive.google.com/file/d/1cdZ7CYZDnxYu3Q8pB5c8mUGJ4RAKBdof/view?usp=drive_link

6) 【重要・再掲】地域における夜間・休日の医薬品提供体制 (在宅含む)の構築、リスト化及び周知等について

厚生労働省の「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」では、地域において求められる薬剤師サービスとして夜間・休日対応や在宅対応等が重要な要素として挙げられるとともに、会員・非会員を問わず地域の薬局が協力し、議論を行う必要があるとされました。また、第8次医療計画においても、在宅医療ニーズを踏まえ、麻薬・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導、24時間対応等の体制構築が求められています。

これらの社会要請を踏まえ、日本薬剤師会より当該事項に関する体制構築と共に、地域住民へ情報の「見える化」の実現に関して依頼がございました。また、当該リストの公表は令和6年度診療報酬改定における地域支援体制加算・在宅薬学総合体制加算・連携強化加算の要件にもなっております。

豊島区薬剤師会では災害対策として既に利用しているeST-aidを用いてリストの作成と公表を行っています。**加算の有無に係わらず各自薬局情報の入力・更新をお願い申し上げます。**

【操作手順資料】

<https://doc.est-jp.com/n/other/shopfn/shop.pdf>

【掲載場所】

豊島区薬剤師会ホームページ > 区民向けご案内
<https://toyoyaku.jp/residents.html>



7)【再掲】eST-aidをご活用ください

豊島区薬剤師会では災害時情報共有システムとしてeST-aidを利用しております。

会員の皆様には既にご登録頂き、毎年情報共有テストを震災が起こったことを想定して被災状況の報告をしていただいております。

eST-aidにはe-STockという各薬局における採用薬の開示および不働医薬品の公開が可能なシステムが存在し、各薬局間の小分けや不働医薬品解消に一助になればと今後活用を促進していきたいと考えております。操作方法などご不明点がございましたら豊島区薬剤師会事務局へお問い合わせください。

※災害時情報共有システム（eST-aid）

<https://est-jp.com/est-aid/>

理事会報告

6月臨時理事会

日時：2025年6月24日（水） 午後9時20分開始 午後10時00分終了

場所：豊島区南池袋3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長

田崎常務理事 南出常務理事 林理事 内山理事 小林理事

北川理事 原田理事 藤平理事 青嶋理事 大澤監事

廣田監事

6月度理事会議事録が承認された。

審議事項

1. 池袋あうる薬局職員の休憩消失による補填の件

池袋あうる薬局において、労働基準法で定められた休憩時間を取得できていない薬剤師について、休憩未取得分の賃金を支払うことが承認された。

今後は、定められた休憩時間を必ず取得することを継続的に指導し、休憩時間未取得をなくすことになった。

2. 池袋あうる薬局職員の本契約と中退金契約の件

7月より本契約のパート勤務薬剤師の中退金の掛け金について、7月の理事会で退職金規定の見直しを行って、該当職員の中退金掛け金について決定することになった。

7月度理事会

日時：2025年7月9日（水） 午後8時30分開始 午後10時25分終了

場所：豊島区南池袋3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長

田崎常務理事 元谷常務理事 南出常務理事 黒須常務理事

林理事 内山理事 小林理事 北川理事 原田理事 藤平理事
青嶋理事 大澤監事 廣田監事

6 月臨時理事会議事録が承認された。

報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会 会長会」資料報告
2. 学術・保険担当報告
3. 防災・公衆衛生・総務担当報告
4. 地域医療・多職種連携担当報告
5. その他

協議事項

1. 外部理事・外部監事の報酬の件
公益法人制度の変更に伴う外部理事・外部監事を決めるにあたり、
定款・役員の報酬規程・役員費用弁償規定・役員選任規定の改定が
必要であり、3 月の臨時総会で決議することになった。報酬について
は、9 月の理事会までに金額を決める。

審議事項

1. 災害時における豊島区薬剤師会行動マニュアル承認の件
災害時における豊島区薬剤師会行動マニュアルの表を除く文章部分
について承認された。また、BCP と行動マニュアルを含めて区に情報
提供することも承認された。
2. 新会員入会承認の件
新会員入会について承認された。
3. 事務局夏期休業日の件
事務局夏期休業日について承認された。
4. 医薬協議会次第の件
7 月 29 日（火）開催の医薬協議会の次第及び役割担当について承認
された。
5. 従業員退職金規程の改定の件
職員の退職金について、支給対象について 1 週間の所定労働時間と
勤続年数の基準を設け、月額掛金については 1 週間の所定労働時
間によって金額を設定すること及び退職金規程を改定することが承認
された。
6. 健康展ポスター決定の件
健康展のポスターについて、採用する案が承認された。
7. 医薬品・情報管理センターの小分けへのキャッシュレス決済使用の
件
医薬品・情報管理センターの小分け時の支払い方法について、キャ
ッシュレス決済は薬剤師会に手数料の負担が生じるのでキャッシュ
レス決済使用を禁止することが承認された。
8. 藤平理事の池袋あうる薬局運営委員会参加の件
藤平理事の豊富な情報を委員会で共有するとともに新しい視点での

意見を取り入れるために池袋あうる薬局運営委員会に参加することについて承認された。

9. 災害用医薬品の契約金額の件（再審議）

豊島区との災害用医薬品の来年度の契約金額について6月度理事会で審議したが再度審議することにした。契約金額について、現時点での薬価による見積金額に対し、製品の回収、販売中止、変更等に係る再購入等に対する金額の増大を考慮し、その増加分を考慮して金額を提出することが承認された。

10. その他

- ・ LINE WORKSの閲覧権限者の整理の件
LINE WORKSの閲覧者が整理できていないので整理することが、承認された。
- ・ 豊島区がん対策推進会議の件
豊島区がん対策推進会議の委員の変更について、江村副会長に変更することが承認された。
- ・ 入会のお誘いのチラシの件
新入会の面接や入会勧誘において、薬剤師会の事業や入会のメリットを案内したチラシを提供することについて承認された。
- ・ 事務局より、公益法人の立入検査が9月17日（水）に実施されることが案内された。

豊島区薬剤師会の活動（6月）

- 6/2（月） 豊島区災害訓練に関する説明会
- 6/4（水） 国保課との健康展打合せ
- 6/4（水） 豊島区議会議長挨拶
- 6/4（水） 実務実習生集合研修
- 6/4（水） 豊島区薬剤師会 6月度理事会
- 6/7（土） 東京都薬剤師会 地区・職域薬剤師会会長会
- 6/10（火） 菊かおる園圏域多職種連携の会 コアミーティング
- 6/12（木） 豊島区薬剤師会 地域医療・多職種連携グループミーティング
- 6/12（木） 豊島区薬剤師会 池袋あうる薬局運営委員会
- 6/18（水） 第1回都立大塚病院医療連携薬事連絡会
- 6/19（水） 豊島区薬剤師会 学術講演会
- 6/21（土） 東京都薬剤師会 定時総会
- 6/24（火） 豊島区薬剤師会 定時総会
- 6/30（月） 豊島区薬剤師会 防災・公衆衛生・総務グループミーティング

令和7年度の主な活動予定

■ 地区薬剤師研修会

第1回 令和7年8月23日(土) Web実施

第2回 未定

■ 薬剤師研修会

第1回 未定

第2回 未定

■ 区民公開講座

第1回 令和7年9月21日(日) としまセンタースクエア

第2回 令和7年12月7日(日) としま区民センター(健康展同時開催)

第3回 令和8年2月1日(日) としまセンタースクエア

■ 健康展

令和7年12月7日(日) としま区民センター

■ 新年会

令和8年1月17日(土) ホテルメトロポリタン池袋



医薬品分割販売利用案内

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することにしました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目: 医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料
豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位: 容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハップ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

豊島区薬剤師会 HP
池袋あうる薬局・医薬品・情報管理センター
https://toyoyaku.jp/owl_center.html



3. 販売価格: 医薬品・・・薬価（消費税入）／ その他医療材料等・・・取扱品目リストに掲載

4. 手数料	豊島区薬剤師会 会員	無 料	
	区外 東京都薬剤師会 会員	1 回	110 円（消費税入）
	その他医療機関	1 回	2,200 円（消費税入）

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認いただき受領印もしくは自署をお願いいたします。

品質管理上、返品はできません。ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。

※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。

2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法：専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。

受付時間	月曜日～土曜日	9 時	から	16 時 30 分
受取時間	月曜日～金曜日	9 時	から	17 時
	土曜日・日曜日・祝日	9 時	から	21 時 30 分

電話での注文は
お受けしておりません

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。（ホームページでご確認ください）

※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写し・都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもご提出ください。

なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。

その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出 いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。

その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

公益社団法人豊島区薬剤師会
医薬品・情報管理センター 御中
FAX 03-3984-7546

取扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名

以下の製品の取扱いを要望します

製品名	規格

- ※ 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては「取扱い要望書」に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。
- ※ 「取扱い要望書」は、豊島区薬剤師会ホームページからもダウンロードできます。

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）

薬品名	剤型	内用・外用
アーチスト錠 1.25mg	錠	内用
アプレピタントカプセル 80mg 「サワイ」	C	内用
インヴェガ錠 3mg	錠	内用
エクラークリーム 0.3%	本	外用
カムシア配合錠 HD 「あすか」	錠	内用
カムシア配合錠 LD 「あすか」	錠	内用
ジintas錠 50mg	錠	内用
調剤用パンビタン末	g	内用
デュロキセチンカプセル 30mg 「サワイ」	C	内用
ネリゾナクリーム 0.1%	本	外用
ノルバスク OD 錠 2.5mg	錠	内用
バソメット錠 0.25mg	錠	内用
パンデルローション 0.1%	本	外用
マイスタン錠 5mg	錠	内用
ライトゲン配合シロップ	ml	内用
ラゲブリオ錠 400mg	瓶	内用
ラコール NF 配合経腸用液（ミルク 400ml）	パウチ	内用
リアルダ錠 1200mg	錠	内用
リズミック錠 10mg	錠	内用
リバロ錠 1mg	錠	内用
リポパス錠 20	錠	内用

* 取り扱い中止

薬品名	内用・外用
アデホスコワ腸溶錠 20	内用
アムロジピン錠 10mg 「サワイ」	内用
イクスタンジ錠 40mg	内用
エースコール錠 2mg	内用
クエチアピン細粒 50% 「サワイ」	内用
チスタニン糖衣錠 100mg	内用
チニダゾール錠 200mg 「F」	内用
デカドロンエリキシル 0.01%	内用
バランス錠 10mg	内用
ページニオ錠 100mg	内用
ルリコナゾール軟膏 1% 「イワキ」	外用